

ようかいちほしょう 八日市場小スタンダード

①筆記用具(えんぴつ)は自分でけずって準備する。

- ・2Bのえんぴつ5～6本，赤青えんぴつ2本を家でけずって準備してきてください。全部のえんぴつの先がおれたり，まるくなったりしたら，休み時間にけずりましょう。えんぴつはかざりのないものにしましょう。

→えんぴつがきちんとけずってあると，美しい字が書けます。

②机の上，机の中を整理せいとんする。

- ・机の上には必要なものだけを出し，必要のないものは机の中にしまいましょう。また，引き出しの中もせいとんし，必要なものがすぐに取り出せるようにしましょう。

→必要なものをすばやく準備できるようになり，学習がスムーズに進みます。

③次の授業の準備をしてから，休み時間にする。

- ・次の授業で使う教科書，ノート，筆箱を机の上に出してから休み時間にしましょう。

→授業が始まったらすぐに学習に取り組むことができます。

④時間になったら遊びをやめて席につく。(チャイム着席)

- ・日直が，授業のはじめのあいさの号令をかける前に席につきましょう。

→あわてずに席について，落ち着いて授業を始めることができます。

⑤授業のはじめ・おわりのあいさつをしっかりする。

- ・いすに正しい姿勢ですわり，日直の号令に合わせて，はっきりとした大きな声であいさつをしましょう。

→授業のはじめとおわりのあいさつをきちんとすると，気持ちがきいかわり，集中して勉強することができます。

⑥いすにただ正しいしせい姿勢ですわる。

- ・学習が始まったら「グー・ペタ・ピン・サツ」の姿勢をしましょう。

グー（机とおなかの間にグーが一つ入る分くらいあける）

ペタ（足の裏をゆかペタッとつける）

ピン（せすじをピンとしっかりとのばす）

サツ（ひざのうえにすばやく手をサツとおく）

→正しい姿勢ですわると、やる気が出て、健康でじょうぶな体をつくることができます。

⑦えんぴつをただ正しくもつ。

→えんぴつを正しく持つと、美しい字が書け、たくさん書いてもつかれません。

⑧名前をよばれたら「はい」と返事へんじする。

- ・相手に聞こえる声で返事をしましょう。

→元気よく返事をすると、やる気が出て、相手も気持ちが良いです。

⑨友だちや先生せんせいの話を静しずかに最後さいごまで聞きく。

- ・話す人の方に目をむけましょう。とちゅうで口をはさまず、話の内容を理解しながら聞きましょう。

→人の話をよく聞くと、勉強がわかるようになり、自分の考えも深まります。

⑩学習がくしゅうの場面ばめんにあった声こえの大きおおきさで話はなす。

→学習の場面に合った声の大ききさで話すと、聞く人にとっても聞きやすく、話の内容もわかりやすくなります。